

平成28年度 本部事務局事業報告

1 事業の概要

当福祉会は、昭和50年の設立以来、朝霞市、志木市、和光市の広域的な社会福祉事業の主たる担い手として、安心・安全で多様な福祉サービスを展開し、地域福祉の向上に努めて参りました。

平成28年度においても、「みつばすみれ学園」、「すずらん」の障害児・者の直営2施設をはじめ、和光市から「ほんちょう保育園」、「にいくら保育園」の2園を受託運営するとともに、朝霞市の指定管理者として特別養護老人ホーム「朝光苑」等の管理運営、受託事業として「地域包括支援センター朝光苑」の運営を行いました。

福祉会を取り巻く環境変化に対応

平成28年度は、改正社会福祉法の施行に向け、経営組織の見直しをはじめ、定款の変更手続きや新たに評議員選定・解任委員会を設置するなど、新しい制度に適切に対応できるよう努めてまいりました。

障害児の支援においては、利用希望の多い2歳児の通園日数を増やすなど、療育希望者の積極的受け入れにより、利用率の向上を図ることができました。また、障害者の支援においても、個別送迎の充実や特別支援学校卒業生の積極的受け入れ等が利用促進となり、利用率が向上しました。

子ども子育て支援においては、和光市の「子ども・子育て支援制度」に継続して参画するとともに、保護者の保育参加や園開放による地域交流を通し、保護者及び地域と保育内容について共通理解を深めることに努めてまいりました。

高齢者の支援においては、朝霞市の「地域包括ケアシステム」構築を念頭に、地域包括支援センターに生活支援コーディネーターを新たに1人配置し、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取り組みを始めました。なお、平成29年度から平成33年度までの5年間の朝光苑指定管理に向けて準備を行い、朝霞市から引き続き指定を受けることができました。

職員の採用活動においては、引き続き厳しい状況にありますが、各種実習校や近隣学校との関係構築に努め、求人情報を積極的に提供することにより、年間で9人の採用をすることができました。

2 理事会等の開催

(1) 理事会

開催回数	開催日等			
4回開催	第136回	5月26日	第138回	12月27日
	第137回	8月29日	第139回	29年3月15日

(2) 評議員会

開催回数	開催日等			
4回開催	第1回	5月20日	第3回	12月22日
	第2回	8月23日	第4回	29年3月10日

3 監事による監査

開催回数	開催内容等	
3回開催	決算監査	5月12日 対象：全施設
	中間監査	12月16日 対象：みつばすみれ学園、すずらん、本部事務局
		29年1月17日 対象：ほんちょう保育園、にいくら保育園、朝光苑

4 各種試験

(1) 職員採用試験

募集職種	試験内容	試験日	試験結果
生活支援員	面接	平成29年2月3日	応募者：2人 採用者：1人
	面接	平成29年3月22日	応募者：2人 採用者：1人
介護職員	面接	平成28年7月22日	応募者：1人 採用者：1人
		平成29年2月16日	応募者：1人 採用者：1人
保育士	面接	平成29年3月2日	応募者：3人 採用者：3人
看護師	面接	平成28年7月5日	応募者：1人 採用者：1人
地域包括支援センター職員	面接	平成28年7月23日	応募者：3人 採用者：1人

(2) 職員昇任試験

試験名	試験内容	試験日	試験結果
主幹級昇任試験	面接	平成29年2月17日	応募者：7人 合格者：2人
主査級昇任試験	面接	平成29年2月22日	応募者：15人 合格者：5人

5 職員数

(平成29年3月31日現在/単位：人)

施設名	事務局長 施設長	事務員			保育士 児童指導員 生活支援員 介護職員		看護師		栄養士	児童発達支援責任者 サポーター管理責任者 介護支援専門員 生活相談員 社会福祉士等			合計	
		正	正	パート	正	パート	正	パート		正	正	パート	正	パート
本部事務局	1	2	1(1.0)	—	2(0.8)	—	—	—	—	—	—	3	3(1.8)	

みつばすみれ学園	1	1	—	6	12(8.2)	1	—	—	2	5(3.7)	11	17(11.9)
すずらん	1	1	—	9	18(13.9)	1	—	—	1	—	13	18(13.9)
ほんちょう保育園	1	1	—	9	24(16.0)	1	1(1.0)	※2	—	—	12	25(17.0)
にいくら保育園	1	※1	—	12	23(15.4)	1	—	1	—	—	15	23(15.4)
朝光苑	1	3	3(3.0)	23	15(10.7)	3	3(2.8)	1	13	2(1.5)	44	23(18.0)
合 計	6	8	4(4.0)	59	94(65.0)	7	3(3.0)	2	19	6(5.2)	98	109 (78.0)

※1 ほんちょう保育園兼務

※2 にいくら保育園兼務

注1 正：正規職員

注2 () は常勤換算の人数

平成28年度 みつばすみれ学園事業報告

1 事業の概要

平成28年度事業計画において、以下に示す2点を目標に掲げ、運営を行って参りました。

療育支援体制の充実

①施設利用希望者の利用機会を増大する

療育を希望する児童の受け入れを積極的に行うことに努め、年間の契約児童数は116人を数え、定員に対する利用率は昨年度77.3%から80.1%へと増加しました。

これについては、利用希望の多い2歳児の通園日数を、前年度の週2日から週3日へと増日した他、土・日曜日実施の父親学級や運動会行事の振り替え休園(3日間)の廃止を継続した等の結果であると考えます。また、契約児童数の内、他施設との併行利用児(基本的に週に1日の通園)の割合が、前年度52.1%に対し、28年度は46.5%(児童数116人の内、54人)と低下したことも要因であると考えられ、収入面では予算より319万円の増収になりました。

②専門性の高いサービスを提供する

専門職(作業療法士、言語聴覚士)の導入による個別・集団療育での支援、指導が学園及び家庭生活の中に活かされ、支援力の向上につながりました。更に職場内研修においても研究発表の場を設けるなど、児童発達支援センターとしての質の向上を図ることが出来ていると考えております。

地域支援の強化

併行利用児の通所先との交流と情報交換等の連携強化に努め、県からの委託事業である「障害児等療育支援事業」を実施し、地域支援の一翼を担って参りました。

尚、開設2年目となる「指定障害児相談支援事業及び指定特定計画相談支援事業(みつばすみれ学園障害児等計画相談支援センター)」については、前年度計画作成数125件から、28年度は213件(本計画提出数)となり、また、県からの委託事業としての「発達障害地域療育センター事業(南西部地域療育センター)」においては、個別療育の件数が前年度から2倍以上の791件を数える等、順当に運営展開をしております。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

月例事業	誕生会、地震・火災避難訓練、保護者と施設間連絡会、交流保育、身体測定、こころの発達相談・整形外科健診(月1回)、内科(2月1回) 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の指導(週1回・必要に応じ) 交流保育(朝霞市=北朝霞保育園・泉水保育園、志木市=北美保育園)
5月	クラス懇談会、児童検便(腸内細菌検査)、児童検尿、歯科検診
6月	児童検便(ぎょう虫卵検査)
7月	七夕、父親学級
8月	彩夏祭鳴子踊り参加(朝霞市)、園外プール、夏祭り(すずらんと合同開催)
9月	祖父母参観
10月	運動会(宗岡第三小体育館)
11月	クラス懇談会、児童検便(腸内細菌検査)、児童検尿、歯科検診
12月	もちつき会、クリスマス会
1月	父親学級

2月	豆まき、発表会
3月	お別れ会、卒園式

(2) 相談・会議等

相談等	①療育相談／来園・電話相談、個別・訪問・集団療育、健診、機能訓練 ②個別面談、クラス懇談会、保護者と施設間連絡会
会議等	①療育支援連絡会議(朝霞市・志木市・和光市) ②ケース検討会議、カリキュラム検討会議、クラス会議、職員会議 ③通園バス運行会議、給食検討会議
他機関等との交流	①埼玉県(発達障害者支援体制整備検討委員会)、朝霞・志木・和光市の関係会議(要保護児童対策地域協議会、育成保育関連会議、自立支援協議会、介護給付費等支給審査会、障害者プラン推進委員会等)へ出席 ②和光特別支援学校評議員会議へ出席 ③見学・実習、中学生職業体験(朝霞第一中、朝霞第二中、宗岡中、宗岡二中、志木中)の受入れ ④地域の作品展等へ出展(太陽展、志木市総合福祉センターまつり、向陽祭、チャレンジド作品展等) ⑤施設便りの発行・配布(月1回)

3 利用状況

児童在籍状況(契約児童)

(月初在籍数：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	合計
朝霞市	34	34	37	38	39	40	42	43	43	42	45	46	483
志木市	20	21	22	22	21	21	21	22	23	25	26	26	270
和光市	37	39	41	45	46	46	45	45	44	42	43	44	517
合計	91	94	100	105	106	107	108	110	110	109	114	116	1,270
入所者数	9	3	7	3	1	1	3	2	2	5	2	0	38
退所者数	0	0	0	1	0	1	0	2	3	0	0	34	41

4 外部協力・援助等一覧

(1) 寄附一覧(現金) ※印はすずらんととの折半額

—敬称略—

期日	寄附者	金額
08/19(夏祭り)	朝霞市北部地区民生委員児童委員協議会	5,000円 ※
	朝霞ライオンズクラブ	5,000円 ※
	柴崎健司(だんご販売の売上金)	5,000円 ※
12/03	朝霞ライオンズクラブ	100,000円
H29/02/16	第一生命労働組合池袋総合営業職支部	10,000円
03/31	栗原友介(嘱託医報酬分)	500,196円
合計	6件	625,196円

(2) ボランティアの受入れ

行事	夏祭り／運動会／もちつき会／クリスマス会	10団体128人／個人13人
通年	(保育・製作・付添い児) : 個人(9人)	223人

(3) 見学研修等受入れと職員派遣

	件名	実施日数	機関	延べ人数
受入れ	卒園・退園児の引き継ぎと相談	2日	2機関	4人
	学園療育についての見学と体験	24日	23機関	95人
	学園利用児の様子観察	16日	9機関	25人
	次年度就学児・移行児の様子観察	1日	1機関	2人
	学園見学(入園希望者、電話相談など)	97日	——	97人
	学生の受入(中学生職業体験、卒業論文など)	26日	7機関	68人
派遣	育成保育検討会・審査会	2日	2機関	2人
	育成保育対象児の様子観察	7日	6機関	12人
	フォローグループの援助	11日	1機関	11人

(4) 実習受入れ

ア 介護等体験実習 4学校 延べ 4人
 イ 社会福祉施設実習 11学校 延べ12人 合計：15学校 延べ16人

5 障害児等療育支援事業実績 (療育相談利用状況)

(延べ回数)

	①在宅支援 訪問療育等指導事業		②在宅支援 外来療育等指導事業			③施設支援 一般指導 事業	①～③ の合計	関係機関 との連携
	巡回相談	訪問健康診査	発達相談	療育	検診			
朝霞市	10	0	22	8	3	30	73	15
志木市	4	0	19	1	0	15	39	10
和光市	0	0	13	0	0	9	22	14
新座市	0	0	0	0	0	3	3	0
その他	0	0	2	0	0	8	10	4
合計	14	0	56	9	3	65	147	43
	14		68					

6 みつばすみれ学園障害児等計画相談支援センターの実績

(1) 対応件数(初回アセスメント件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
朝霞市	4	3	3	2	4	2	0	2	3	1	2	2	28
志木市	2	0	0	0	1	2	1	5	3	2	2	4	22
和光市	3	4	1	0	0	1	0	1	0	1	0	3	14
合計	9	7	4	2	5	5	1	8	6	4	4	9	64

(2) 計画案作成件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画案提出	14	12	18	6	20	19	22	15	21	14	14	49	224
本計画提出	24	13	20	13	10	23	19	18	11	19	13	30	213
モニタリング報告書	16	37	36	24	28	35	34	22	31	20	31	50	364

7 南西部地域療育センターの実績

(1) 個別療育定員：100人

(2) 配置専門職：臨床心理士、言語聴覚士

(3) 連絡件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
連絡件数 合計	22	30	5	17	12	9	7	9	5	27	5	13	161
初回面接	9	3	3	1	4	0	0	0	0	10	3	1	34
個別療育	67	73	73	88	81	48	34	64	70	67	56	70	791

※個別療育実人員=79人

平成28年度 すずらん事業報告

1 事業の概要

平成28年度事業計画において、以下に示す目標を掲げ、運営を行って参りました。

利用される施設となる

障害をもった方のそれぞれの状況に応じ、日常生活上の支援や社会参加等を目的とする生活介護事業における利用希望者は増加傾向にあります。また、近年の傾向として特別支援学校卒業生の進路先として定着しております。4月には4人の新規利用があり、年間を通じて56人の登録者を数えました。地域の利用ニーズに対し、出来るだけ多くの利用をしていただけるよう努め、平成28年度の定員40人に対する全体の利用率は101.1%となり、前年度の94.5%から6.6%増加しました。

これにつきましては、利用者の障害の特性や身体状況の変化、介護者の不調等による欠席はありますが、できるだけ登所に結びつくよう個別送迎の調整を図った他、家庭環境や介護者の都合等を考慮し、柔軟に個別の利用滞在時間延長を実施する等、利用促進の取り組みを行ってきた結果であると考えられます。

個別支援及び介護・相談体制の充実

利用者個別支援計画においては、先ず利用者自身の目標を明確にし、当人や家族が理解しやすいものとするために、文言や表現方法についても再度見直しを行いました。更に、目標の設定は家庭生活においても展開していくよう、日常生活動作及び意思疎通行為等の支援内容を盛り込んだ計画の作成に努めました。

また、所内活動以外にも散歩や外気浴等の取り組みを増やし、健康増進を図るとともに、専門的な理学療法、作業療法の技術面指導を現場職員が受け、支援及び介護力の向上に努めてきました。

この他、保護者と施設間連絡会における情報交換の場では利用者の高齢化及び将来問題に起因する話題が年々多くなってきており、必要に応じて個別面談の回数を増やす等、相談体制の充実に努めました。また、利用者の状態変化や、家族背景等の状況等の特変事項については適宜、担当する相談支援専門員へ連絡をとり、情報の共有化を図りました。

今後も利用者・家族の抱える不安材料の軽減に結びつくよう、支援計画の質の向上と、相談援助技術の充実に努めて参ります。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

月例事業	誕生会(毎月末に各グループ毎に実施)、地震・火災避難訓練、身体測定、製作品販売、音楽療法(隔月)、嘱託医診察等/内科・精神科・整形外科 理学・作業療法(週1回)
4月	出発式、歯科検診
5月	運動会(宗岡第三小学校体育館)
6月	検便(ぎょう虫卵検査・腸内細菌検査)
7月	七夕
8月	彩夏祭鳴子踊り参加(朝霞市)、夏祭り(みつばすみれ学園と合同開催)
9月	定期健康診断(胸部レントゲン、血液検査を含む)
10月	人権フェスティバル参加(和光市市民会館)、検便(ぎょう虫卵検査・腸内細菌検査)、合唱団ホランテア、和民食事会招待
11月	すずらん祭り
12月	もちつき会、クリスマス忘年会

1 月	初詣、書き初め、カラオケ演芸大会
2 月	豆まき
通 年	希望制小旅行(年間9回 延べ37人/サンシャイン60展望台・熱帯環境植物園・サンシャイン水族館・ららぽーと富士見ショッピング・上野動物園・ロッセ狭山工場見学等)

(2) 会議等

施設内会議	①職員会議(毎月) ②給食会議(年3回) ③通所バス運行会議(毎月) ④ケース支援・打ち合わせ会議(毎日) ⑤個別支援計画会議(随時) ⑥支援グループ会議(随時) ⑦保護者と施設間連絡会議(年3回) ⑧衛生委員会 ⑨身体拘束廃止/事故防止委員会 ⑩医療的ケア委員会
関係機関会議	①関係市担当者と施設間連絡会議(年3回) ②4市医療職ネットワーク会議(年4回)

3 利用状況

(1) 市別在籍状況(契約利用者数)

(月初在籍数：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年1月	2月	3月	合計
朝 霞 市	16	16	16	16	16	17	17	17	17	18	18	18	202
志 木 市	31	31	31	31	30	30	30	30	30	30	30	30	364
和 光 市	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	8	105
合 計	56	56	56	56	55	56	56	56	56	56	56	56	671
入所者数	4	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	6
退所者数	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2

(2) 障害程度別内訳

(H28.4.1現在：人)

療育手帳 所持者	療育手帳 のみの者	身体障害者手帳を併せ持つ者							合 計
		1種1級	1種2級	1種4級	2種2級	2種4級	2種5級		
㊤	45	16	16	8	1	1	1	2	29
A	6	6	0	0	0	0	0	0	0
B	3	2	0	0	0	0	0	1	1
無 し	2	0	2	0	0	0	0	0	2
合 計	56	24	18	8	1	1	1	3	32

※車椅子使用者17人、付き添い歩行14人、全盲1人

4 外部協力・援助等一覧

(1) 寄附一覧(現金) ※印はみつばすみれ学園との折半額

—敬称略—

期 日	寄 附 者	金 額
05/21(運動会)	和光ライオンズクラブ	5,000円
08/19(夏祭り)	朝霞市北部地区民生委員児童委員協議会	5,000円※
	朝霞ライオンズクラブ	5,000円※
	柴崎健司(だんご販売の売上金)	5,000円※
11/05(すずらん祭り)	和光ライオンズクラブ	5,000円
	志木ライオンズクラブ	10,000円
12/28	栗原友介(嘱託医報酬分)	250,098円
合 計	7 件	285,098円

(2) 地域との交流

通 年	新河岸川「川の国応援団美化活動団体」清掃活動実施 宮戸橋作品等販売
09/11	朝光苑まつり 作品販売
11/05	すわ緑風園祭り展示(施設紹介と作品展示)
12/03～09	障害者週間：和光市チャレンジド展示
12/11	志木市障害者理解促進事業：丸井ふれあいプラザホール 作品販売
H29 03/04～05	志木市総合福祉センターまつり 展示と作品販売

(3) 実習生受入れ

産業現場実習	延べ 71日	4 学校	延べ 17人	所沢おおぞら・和光・和光南特別支援学校 富士見市立富士見特別支援学校
中学生職業体験	延べ 9日	3 学校	延べ 36人	志木中・朝霞一中・朝霞三中
保育士養成実習	延べ 31日	3 人	延べ 31人	秋草学園短期大学
看護実習	延べ 3日	32人	延べ 32人	朝霞准看護学校

(4) 施設見学者(関係機関)

08/04	和光特別支援学校教員初任者研修 6人	08/08	和光特別支援学校教員初任者研修 6人
08/09	和光特別支援学校教員現任者見学 2人		

(5) ボランティア受入れ

通 年(茶道・組ひも・畑)	個人(6人)	延べ66人	05/21(運動会)	個人(6人)	延べ6人
08/22 (夏祭り)	6団体(69人)、個人(7人)	延べ 76人	11/05(すずらん祭り)	個人(11人)	延べ11人
12/04 (もちつき)	1団体(19人)	延べ 19人	01/27(カラオケ演芸大会)	個人(2人)	延べ 2人

(6) その他

年12回	朝霞市美容師組合ボランティアの会による美容整髪(希望者対象：有料)
------	-----------------------------------

平成28年度 和光市ほんちょう保育園事業報告

1 事業の概要

平成28年度事業計画にあげた事業の目標に基づき取り組んできました。

健やかな成長への取り組み

子ども達の個性や月齢などによる個人差を理解し、乳児期は身近な人から安心できる関係を作り、心の安定と安全な環境作りに努めてきました。幼児期においては、年齢クラスを基本に、異年齢の縦割りグループ活動や地域のお年寄りとの交流など様々な人との関わりの中で、自分の気持ちを伝え相手の気持ちを知る経験から、将来に向けたより良い人間関係が築けることを願って取り組んできました。

豊かな感性の育み

保育の特徴である音楽表現は、乳児期から身近な楽器を使い音に親しむことを基本にし、幼児期はリズム打ちや音で表現することなど、楽しみながら行いました。運動プログラムでは、基本的な運動を獲得し、更に挑戦することを諦めず、達成することで自信に繋がり精神面での育みにもなりました。食育は、季節の旬のものを味わったり、野菜の栽培、調理保育や保存食作りなどで、興味を持ち食べる楽しさと大切さを実感することができました。

地域との連携

就学を迎える5歳児は、小学校とのスムーズな移行を目的とし、保育クラブを含めた小学生との交流を行い、教員と個々の子どもについても情報交換を行い、連携を図ってきました。日常的に課題をもつ子の保育においては、専門機関との連携を図り、保護者においても園での様子を伝えながら個々の発達や状況に応じた保育を行ってきました。

保護者支援・地域支援

在園の保護者には「保育参加」によって、園生活を経験することで、子どもの様子や保育内容が分かり大変好評でした。地域においての園開放事業（あそぼう会）では、園内での親子体験、親子遊びや子育て情報を得られることで、毎回利用する親子が多く、季節行事への参加は大変人気がありました。育成一時保育については登録人数が少しずつ増え、他施設との平行利用や、就学のために集団経験を意識した利用が増えてきました。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

月例事業	火災避難訓練（毎月）、地震避難訓練（隔月）、防犯訓練（3回）消防署等立ち合い訓練（火災1回、防犯1回）、誕生会、布団乾燥、市内保育園関係会議（事業者連絡会議、看護業務会議、栄養士会議、幼保小連絡協議会、心の教育推進委員会）、3～5歳児異年齢グループ活動、園だより、クラスだより、献立表、保健だより
4月	5歳児親子遠足
5月	4歳児親子遠足、全クラス懇談会
6月	ありがとうの日、お泊まり保育
7月	保育園運営委員会、じゃがいも掘り、七夕、流しそうめん、わっこまつり
8月	彩夏祭鳴子踊り参加（4、5歳児）
9月	大規模地震を想定した児童引き取り訓練、十五夜、おじいちゃんおばあちゃんの日
10月	運動会
11月	2・3歳児親子ふれあい会、5歳児懇談会、焼き芋会、サンマの塩焼き
12月	発表会、クリスマス会
1月	もちつき会、2歳児懇談会、0・1歳児懇親会

2月	節分、保育園運営委員会、県警指導班立ち合い防犯訓練
3月	ひなまつり、卒園式、入園前面談、卒園思い出遠足

(2) 児童の健康管理

- ・ 身体測定（毎月）、内科健診（5月、11月）、歯科検診（6月）、乳児健診（隔月）、尿検査（11月）
- ・ 手洗い指導、歯磨き指導（看護師） 対象／3・4・5歳児

(3) 地域交流事業

- ・ あそぼう会（園開放事業）／年16回、利用親子延べ人数 98人
- ・ 行事地域招待／わっこまつり、運動会
- ・ 心の教育推進活動あいさつ運動（1週間）／4月、9月、1月
- ・ 本町保育クラブと5歳児との交流・4回
- ・ 地域高齢者の喫茶サロン（市のウェルカム事業）と5歳児との交流（3回）
- ・ 朝光苑デイサービスセンターと5歳児との交流（2回）
- ・ 絵本とお話の会（ボランティアによる）5月～29年2月・9回…2～5歳児対象

(4) 特別保育事業

- ・ 保育参加 前期（5月～8月頃）29人 後期（9月～12月頃）58人

(5) 実習生・ボランティアの受入れなど

- ・ 保育実習生（4校） 6人
 - ・ 裁判所調査官研修 4人
 - ・ 職業体験（3校） 12人（大和中、和光第二中、和光高校）
 - ・ ボランティア 12人 / 5歳児の茶道体験指導ボランティア 1人
- ※ 入園前事前見学 56人

3 利用状況

(1) 児童在籍状況

月初日在籍児童数

(単位：人)

対象 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月
0歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
1歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
2歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
3歳児	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
4歳児	20	20	20	20	20	20	21	21	21	21	21	21
5歳児	19	19	19	19	19	19	20	20	20	20	20	20
合計	94	94	94	94	94	94	96	96	96	96	96	96

平均利用率	： 97.7%	土曜日平均利用者数	： 10.3人
-------	---------	-----------	---------

(2) 育成一時保育事業**(単位：人)**

人数 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年 1月	2月	3月	合計
登録人数	22	23	25	27	27	27	27	27	27	28	28	29	—
利用延人数	48	45	58	52	57	52	54	54	50	53	53	62	638

平成28年度 和光市にいくら保育園事業報告

1 事業の概要

平成28年度事業計画にあげた事業の目標に基づいて取り組んできました。

異年齢保育

平成28年度は3歳児以上の園児が4グループ編成での異年齢保育の取り組みを行うようになって3年目の年となり、活動内容が整理され、終日を通して異年齢集団で生活し、週1回の学年別の活動を取り入れる流れが定着しました。年長児が自発的に年少児を手伝う姿や遊び方を教える場面が多く見かけられます。また、学年別の活動日にはグループが異なる同学年の子との友達関係を広げています。重点課題に挙げた『保育園の取り組みを保護者に理解していただけるよう発信する』については、「園だより」や「クラスだより」、日々の活動の様子を伝える連絡帳や掲示物などの文書による伝えや、懇談会や個別面談などでの直接お話しする機会を通じて丁寧な説明を心がけました。

食育

食育の取り組みの一環として取り組んでいる畑の活動は、保護者からの活動継続の希望が多い取り組みです。保護者にもご協力をいただき畝を作ったり苗を植えるなどして野菜を育て収穫し、さらに収穫した野菜を使った調理保育を行いました。また、調理保育の中で子どもたちに「だし」について栄養士が話す機会を設け、「だし」をしっかりとってうす味を心がけることの必要性を保護者にもお伝えしました。『梅干作り』や『味噌作り』などの保存食づくりは前年度の様子を覚えている園児も多く、楽しんで取り組みました。「もちつき会」は保護者にもお手伝いをお願いし、保護者が楽しみにする行事となっています。

保護者支援・地域支援

在園の保護者には保育園の様子を知っていただく機会として「保育参加」への参加を呼びかけています。毎年少しずつ参加者が増えています。また地域に向けた園開放事業（あそぼう会）へは繰り返し参加される方が多く、積極的に保育士に話しかけ気軽な相談の場として活用されている様子がありました。予約制のミニ講座は「食事」や「子どもの病気」など子育ての身近な話題をテーマにして実施しました。入園前の見学希望者にはできるだけ保護者の希望に合わせた受け入れをしてきました。

発達に課題を持つ児童への支援

28年度は育成保育対象児1人が在園しました。発達面での課題に担当職員を中心として園全体で関わり、関係機関と協力して支援計画を立て、支援しました。育成対象児以外の、発達に課題を持つ児童の支援や、保護者との相談も細やかに行うことを心がけました。関係機関と連携し個別の支援計画の作成を保護者にお奨めしていきます。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

月例事業	火災避難訓練（毎月）、地震避難訓練（隔月）防犯訓練（3回）、消防署等立会訓練（火災1回、防犯1回）、布団乾燥、誕生会 市内保育園関係会議（事業者連絡会議、看護業務会議、栄養士会議、幼保小連絡協議会、心の教育推進会議） 園だより、クラス・グループだより、献立表、保健だよりの発行
4月	進級式、懇談会（0歳～2歳）、5歳児園外保育
5月	懇談会（3、4、5歳）、園庭で遊ぼう会（1、2歳）、4歳児園外保育
6月	保育園運営委員会

2歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
3歳児	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
4歳児	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
5歳児	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
計	134	134	134	134	134	134	134	134	134	134	134	134

平均利用率	；	108.0%	土曜日平均利用者数	；	20.0人
-------	---	--------	-----------	---	-------

平成28年度 朝光苑事業報告

1 事業の概要

平成28年度の事業計画において、2つの事業目標をたて運営を行いました。

利用される施設となる（利用率の向上）

利用率は、介護老人福祉施設（目標）96%（結果）87.7%、
短期入所生活介護（目標）75%（結果）73.7%、
デイサービスセンター（目標）82%（結果）81.4%、
居宅介護支援センター（目標）105件/月（結果）84件/月でした。

介護老人福祉施設では、利用率向上に向けて、待機者の定期的な近況把握、早めの実態調査、病院の医療連携室との連携を図り、新入所者の受け入れに取り組んでまいりましたが、多床室という居室環境、入所待機者の症状等から入所可能な方が限定され、目標利用率には至りませんでした。なお、入所待機者数は、4月当初58人、新規申込者38人、入所・他施設入所・死亡等による取り下げが46人あり、3月末入所待機者は50人でした。引き続き、関係機関との連携を図り、利用される施設を目指してまいります。

短期入所生活介護では、ケアマネージャー事業所への積極的なPRや情報提供等をしたことにより、前年度（64.7%）より利用率が向上しました。

デイサービスセンターでは、利用日が祝日の場合の振り替え対応等を行うことで利用者の増員に努め、前年度（80.7%）より利用率向上に繋がりました。

認知症対応事業を充実させる

地域包括支援センターでは、認知症対応事業であるオレンジカフェの定期開催を年6回以上（目標）としていたところ11回（結果）開催することができ、延べ参加人数は230人でした。また、認知症サポーター養成講座については、小学校、中学校での開催、地域の企業、警察等幅広い分野からの講座開催の依頼があり、認知症への理解に努めました。

2 各事業の実施状況

（1）介護老人福祉施設

① 主な年間事業

月例事業	誕生会、注文買物、店屋物の日、音楽療法、理髪、嘱託医健診(内科/週1回、精神科/月2回)、理学療法(月2回)
4月	お花見散歩、料理クラブ
5月	菖蒲湯、端午の節句、ショッピング、苑外散歩
6月	料理クラブ、ピアノ演奏会、火災避難訓練
7月	七夕、ショッピング、上の原町内会夏祭り参加
8月	料理クラブ、彩夏祭花火見学、地震避難訓練
9月	ぶどう狩り(小泉ぶどう園)、朝光苑まつり(30周年)
10月	胸部レントゲン撮影、インフルエンザ予防接種、苑外活動(東京大仏見学)、料理クラブ、向陽園祭作品展示、火災避難訓練
12月	年末お楽しみ会(ご家族参加)、ゆず湯、料理クラブ、ピアノ演奏会、白百合園交流会、地震避難訓練
1月	正月遊び、書初め
2月	豆まき
3月	ひな祭り

② 利用状況（平成29年3月31日現在）

（ア）入退所の状況（単位：人）

	現入所者			入退所者数	
	男	女	計	入所	退所
合計	18	52	70	14	11(6)

※（ ）看取り介護による死亡者数

（イ）在籍状況（単位：人）（定員：75人）

人数	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
当月初		67	68	69	70	70	66	66	66	67	69	70	70	*
入所者		1	1	2	1	0	1	1	1	2	1	2	1	14
退所者		0	0	1	1	4	1	1	0	0	0	2	1	11

※年間利用率：87.7%

（ウ）介護度別構成

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数（人）	2	3	14	22	29	70
割合（%）	2.9	4.3	20.0	31.4	41.4	100

※平均要介護度：4.09

（2）短期入所生活介護

目標：利用率75.0%

・ 利用状況（単位：人）

人数	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者		30	34	29	30	31	32	33	37	37	33	30	30	—
延べ人数		287	318	326	319	338	348	336	358	348	252	239	295	3,764

※1日平均利用者数：10.3人（定員14人）

※年間利用率：73.7%

（3）デイサービスセンター

① 主な年間事業

月例事業	誕生会、PTリハビリ、体重測定												
4月	お花見							10月	秋の味覚（サンマ焼き）				
6月	梅ジュース作り							12月	年末お楽しみ会				
7月	スイカ割り							1月	もちつき				
9月	外出リハビリ（ぶどう狩り）							3月	お花見				

② 利用状況（単位：人）

目標：利用率82.0%

人数	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者		70	64	72	71	67	64	70	67	67	64	59	50	—
延べ利用者人数		522	475	566	559	562	516	533	494	481	417	422	514	6,061

※開所日／298日 1日平均利用者数／20.3人（定員25人）

※平均利用率／81.4%

(4) 居宅介護支援センター

① 利用状況 (単位: 件) 目標: ケアプラン作成件数 (※) 1, 260件

人数	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護支援件数※		82	78	81	83	82	83	87	88	87	84	81	82	998
介護予防支援件数		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
認定調査件数		1	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	28

(5) 地域包括支援センター

① 主な事業

①	総合相談・支援業務: 地域支え合いネット講座
②	権利擁護業務: 認知症サポーター養成講座
③	包括的・継続的ケアマネジメント業務: ケアマネージャー支援講座
④	介護予防ケアマネジメント業務: 要支援者のケアプラン作成

② 利用状況 (単位: 件) 目標: ケアプラン作成件数 (※) 1, 440件

数	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防支援件数※		122	127	124	122	123	122	124	121	127	130	128	132	1,502
2次予防対象者介護予防支援件数		15	0	0	2	0	27	0	0	5	2	0	4	55
住宅改修理由書作成件数		0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3

3 朝光苑運営に係る事業

(1) 会議

①苑運営会議(月1回)、②全体会議(年2回)、③各部署(デイ・居宅・地域包括)会議(月1回)、④特養入所者カンファレンス(年18回)

(2) 委員会

①優先入所検討委員会(月1回)、②感染症対策委員会(年4回)、③事故防止対策委員会(年4回)、④身体拘束廃止委員会(年4回)、⑤給食委員会(年6回)、⑥安全委員会(痰吸引)(年4回)、⑦褥瘡対策検討委員会(年4回)、⑧衛生委員会(月1回)
*①は外部委員含む

(3) 地域交流

① 介護老人福祉施設

(ア) ボランティア受け入れ

団体	4団体(すずらんグループ、虹の会、楽脳体操、しずくの会)		
個人	21人		
活動内容等	延べ人数: 888人 月平均: 74人		
レクリエーション活動	書道クラブ、詩吟クラブ、大正琴クラブ、踊り、体操、ギター演奏、ピアノ演奏、傾聴		
生活支援活動	シーツ交換、おむつたたみ、洗濯物たたみ、縫い物、車椅子清掃、散歩の付添、行事手伝い		

(イ) 地域との交流

交流	朝霞ボーイスカウト慰問、朝霞第一中学校生徒七夕飾り、野田
	ピアノ、コーラスとフラダンス、向陽園ふれあいの集い作品出
	展、白百合幼稚園クリスマス交流、朝霞マンドリンアンサンブ
	ル、朝霞市南西部地区民生委員児童委員見学
体験ボランティア	朝霞市社会福祉協議会ワークキャンプ
体験研修	朝霞市役所新任職員
職業体験	朝霞第五中学校生徒

② デイサービスセンター

(ア) ボランティア受け入れ

団体	3団体	延べ17回	レモンの木(マッサージ)、すずらんグループ(行事手伝) 十六酔会(落語)
個人	6人	延べ48回	書道、踊り、音楽活動、フルート演奏、手品

(イ) 地域との交流

朝霞市栄町保育園(2回)、朝霞ひだまりの森保育園(1回)

(ウ) 法人内世代間交流

和光市ほんちょう保育園(1回)

(4) 実習生の受入

朝霞准看護学校、東京福祉保育専門学校、日本大学、文京学院大学、十文字学園女子大学、教員特例法介護体験、教員5年経験者研修 計22人

(5) 面会者数(介護老人福祉施設)

延べ人数	1日平均人数
5,939人	16.3人

(6) 人材育成

・ 階層別研修(キャリアパス対応研修)への参加

初任者キャリアパス研修	4人
新任職員フォローアップ研修	2人
中堅職員キャリアパス研修	6人
チームリーダーキャリアパス研修	2人
経営管理研修	3人

(7) 防災・避難訓練

火災避難訓練2回(内1回夜間想定)、地震避難訓練(2回)、メール訓練(2回)
--